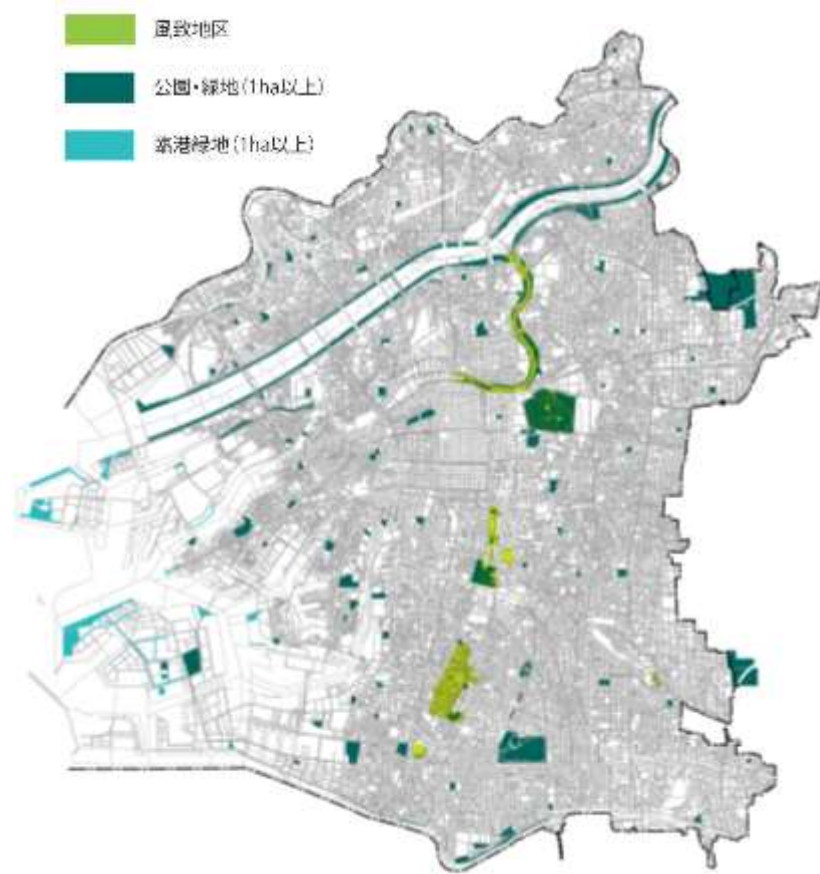


【都市空間の要素：拠点的な空間要素】

○みどりの拠点

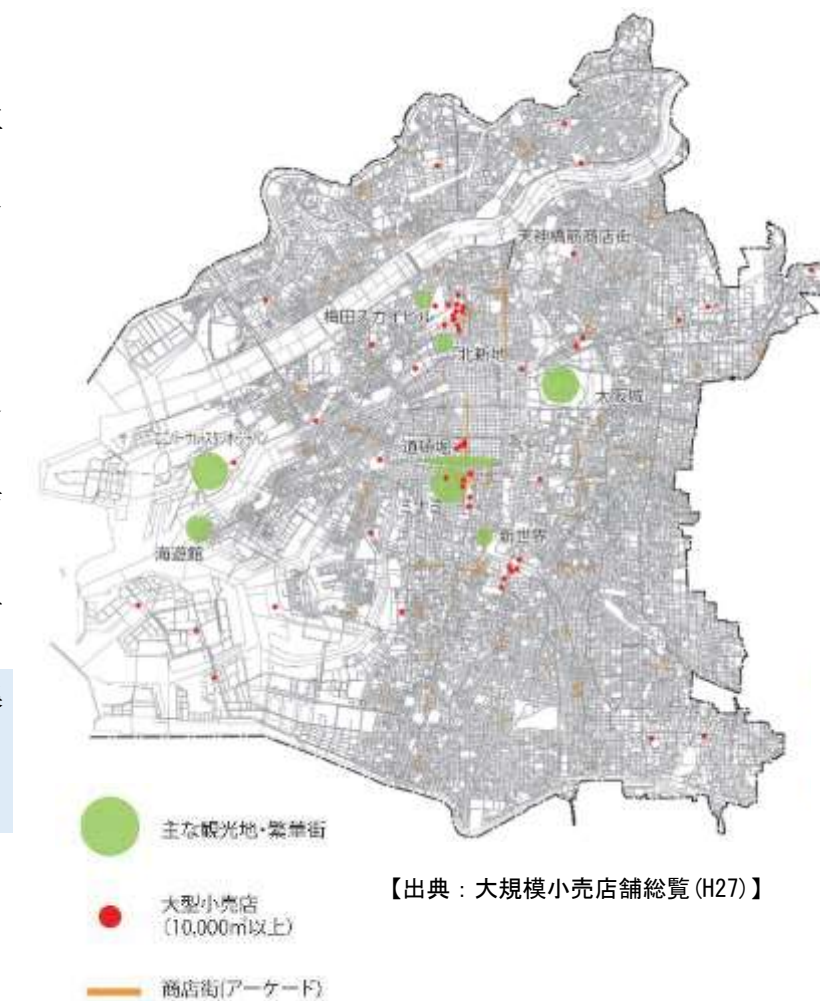
- ・大川、夕陽丘、大阪城公園などのような風致地区では、豊かな樹木や自然環境が保全されている。また、住吉大社周辺や帝塚山周辺では、緑と調和した住宅地が形成されている。
- ・中之島公園、靱公園、大阪城公園などの一定規模以上の都市公園は、市街地が連担する本市において潤いあるオープンスペースを提供するとともに、視点場となり得る空間である。
- ・舞洲西部の臨港緑地には、特に豊かな緑が見られ、ゆとりある空間を形成している。
- ・都市公園や臨港緑地などは拠点的なみどりとして、周囲の景観にゆとりと潤いを与えている。
- ・市街地内の風致地区は、建物と緑が調和した特徴的な界限景観を形成している。



【出典：大阪市都市計画GISデータ (H26)】

○にぎわいの拠点

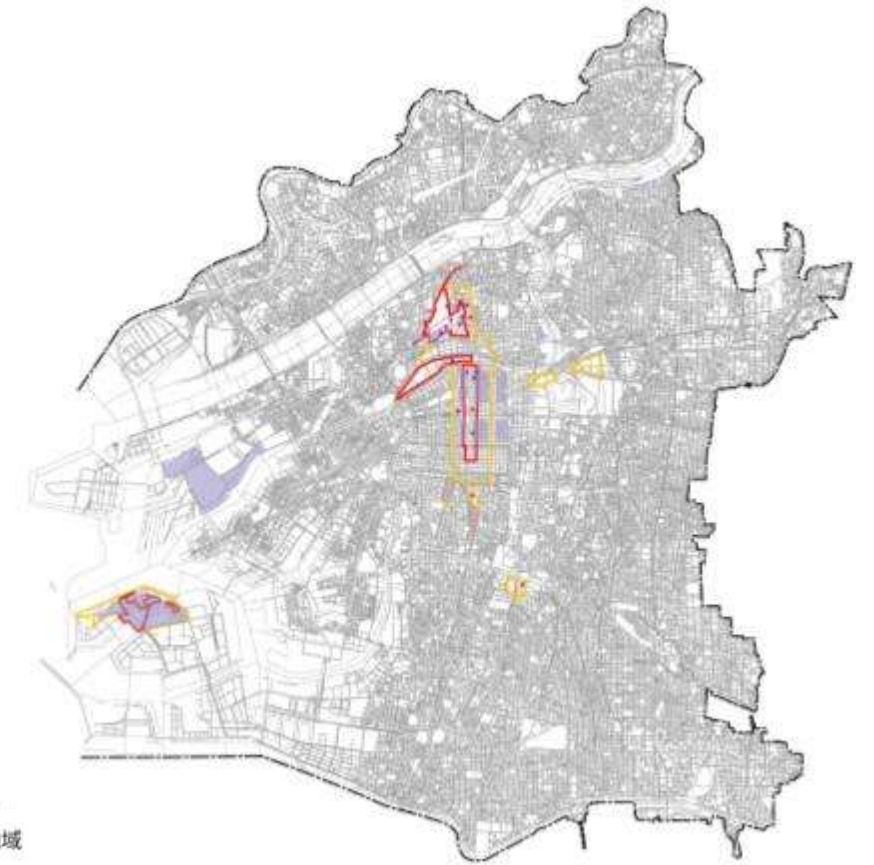
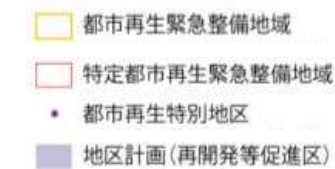
- ・大規模な小売店舗は大阪駅周辺、ミナミ、天王寺・阿倍野駅周辺に多く見られる。
- ・商店街については、駅等の周辺に多く分布している。
- ・市内に点在する観光地のうち、海遊館などは、集客拠点として、周囲へにぎわいを波及させることで、地区一体で観光地として雰囲気を感じられる。
- ・道頓堀、新世界などは、観光地と繁華街の側面が見られる。
- ・また、南堀江など界限性のある面白いまちなみも見られる。
- ・主な観光地や繁華街となっている地区や商業集積のある地区では、多くの人々でにぎわう界限景観が形成されている。



【出典：大規模小売店舗総覧 (H27)】

○都市開発

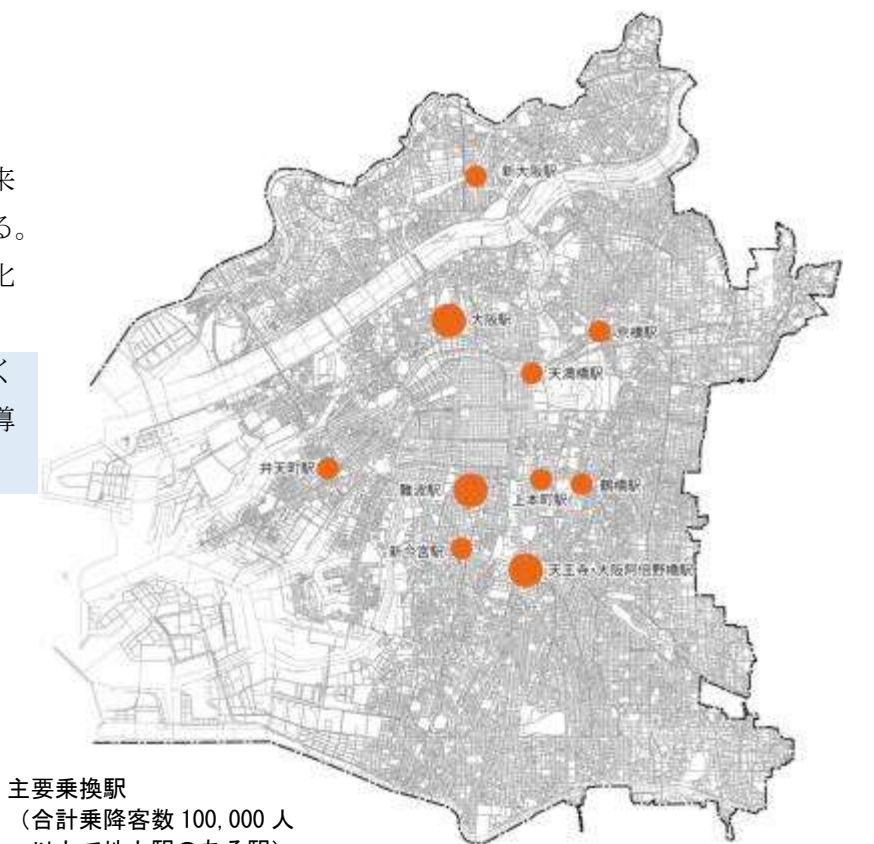
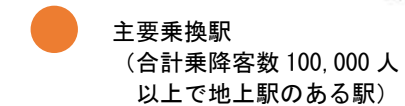
- ・大阪駅周辺・中之島・御堂筋周辺地域、大阪ビジネスパーク駅周辺・天満駅周辺地域、難波・湊町地域、阿倍野地域、大阪コスモスクエア駅周辺地域が都市再生緊急整備地域に指定されており、中でも大阪駅周辺、中之島4・5丁目、御堂筋周辺、大阪コスモスクエア駅周辺地域は特定都市再生緊急整備地域となっており、機能の集積等が図られている。
- ・今後、まとまった規模の都市開発が進む地区では、拠点的な市街地が計画的に整備されるため、計画的な景観誘導の対象とすべきである。



【出典：大阪市都市計画GISデータ (H26)】

○主要鉄道駅

- ・市内でも特に乗降客数が多い主要鉄道駅は、交通の結節点であるとともに、多数の市民や来街者が行き来するにぎわいの拠点となっている。
- ・また、その利便性から周囲の土地は、高度化が進んでいる。
- ・主要鉄道駅周辺は、都市の玄関口であり多くの人の目に触れることから、計画的な景観誘導の必要性の高いエリアである。

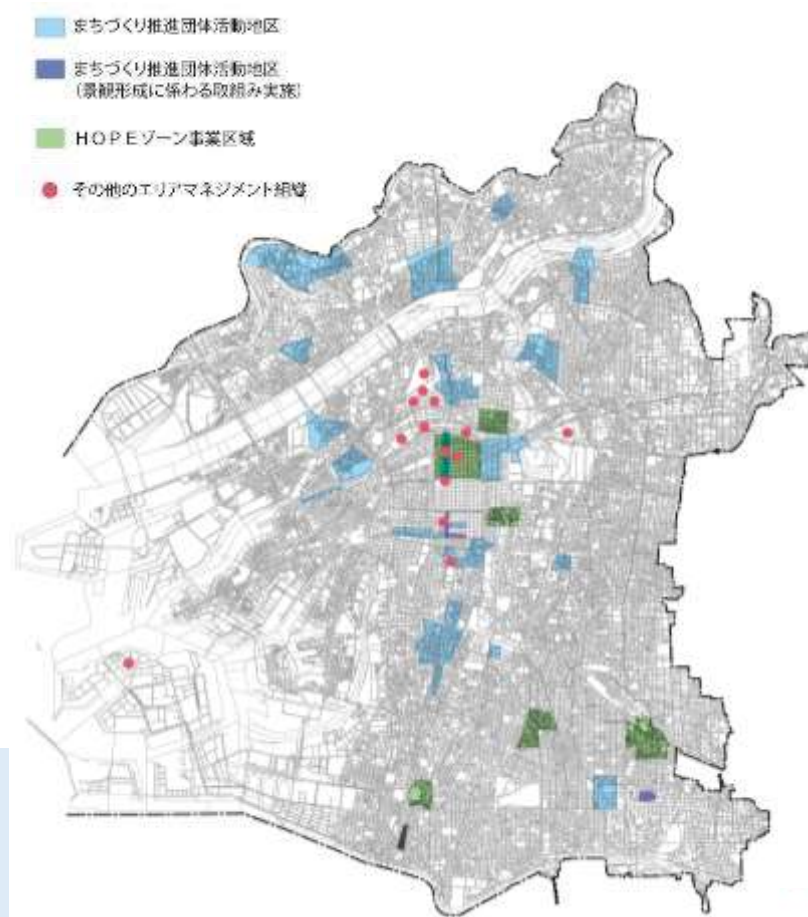


【出典：都市交通年報 (H24)】

【活動・営みの要素】

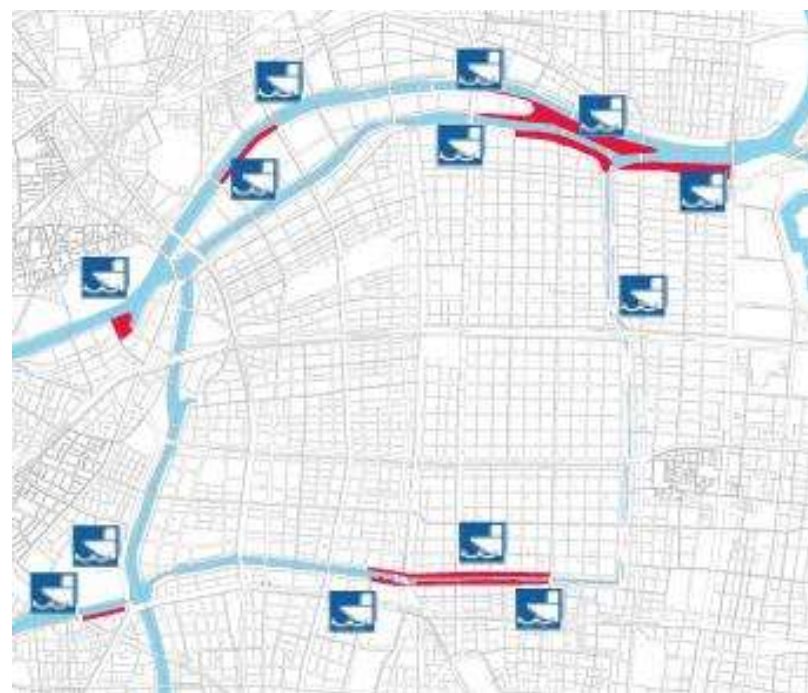
○まちづくりの取り組み

- ・心斎橋筋や宗右衛門町では、景観形成に係わる地域主導のまちづくりが行われ、景観協定や地区計画が定められている。
- ・HOPEゾーン事業として、伝統的なまちなみが残されている地域において、建物等の修景等がなされている。
- ・船場では、観光魅力向上のための歴史・文化的まちなみ創出事業が実施されており、一部の道路において道路の美装化や電線地中化が進められている。
- ・グランフロントTMOやOBP協議会など、都心を中心に地権者やテナント、居住者により地域の価値向上を図るエリアマネジメントの活動が見られる。
- ・まちづくりの取り組みのある地区では、それぞれの地区の実情に応じた取り組みの中で地域主導の景観形成が進められているものも多い。



○水辺の魅力向上

- ・都心部にロの字に流れる川（堂島川・土佐堀川、木津川、道頓堀川、東横堀川）からなる水の回廊を有するまちの特徴を生かし、府民・市民・観光客が、水辺で食、イベント、景観等を年間通じて楽しめる。また、中之島、大阪城、道頓堀など大阪を代表する観光スポットをクルーズ船で巡ることができ、「水都大阪」をめざして、ハード・ソフトの整備が進められている。
- ・その他、安治川や尻無川沿川においても近年では大正リバービレッジや中之島漁港など、新たなアミューズメント拠点ができてきている。
- ・水辺での様々な取り組みにより水都大阪を象徴する水辺景観の形成が進められている。



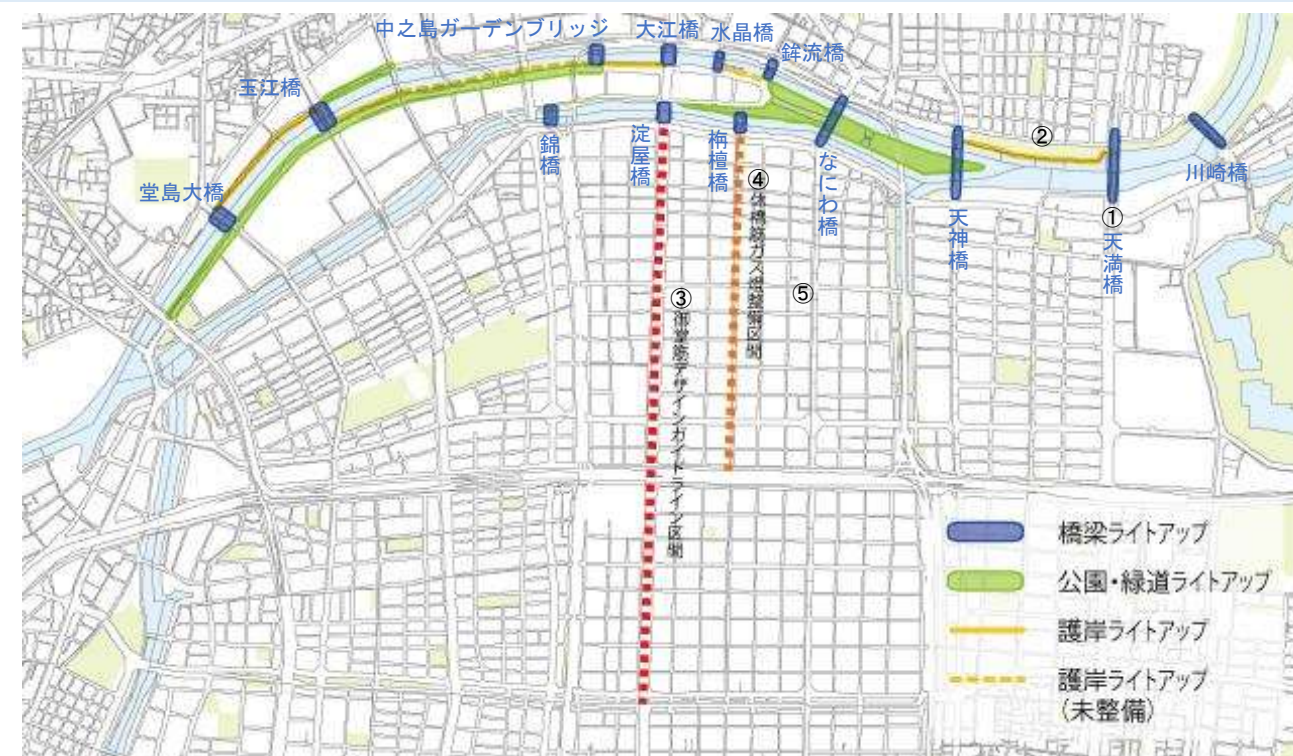
- 水辺の魅力スポット
(河川の規制緩和を活用した都市地域再生等利用区域における水辺のレストランや川床等)
- 船着場
(公共船着場及び定期クルーズ就航民間船着場)

○光景観の創出

【ライトアップ等の取り組み】

- ・土佐堀川、堂島川及び大川（天満橋周辺）において、橋梁や護岸、公園等の公共施設のライトアップが行われており、夜間においても水辺のにぎわい景観が形成されている。
- ・御堂筋（土佐堀通～長堀通）では、御堂筋デザインガイドラインにより夜間景観の誘導がなされており、夜間においてもメインストリートとしての風格やにぎわいの様相が見られる。
- ・民間によるものとしては、三休橋筋においてガス燈が整備されるなどの取り組みがなされており、船場地区の夜間景観を演出している。

- ・中之島周辺の水辺などでの取り組みを中心に印象的な夜間景観の演出が図られてきている。



中之島橋梁群と護岸の整備



スカイラインを形成し都市魅力を高める光のランドマーク（御堂筋）



大阪を代表するにぎわい光景観



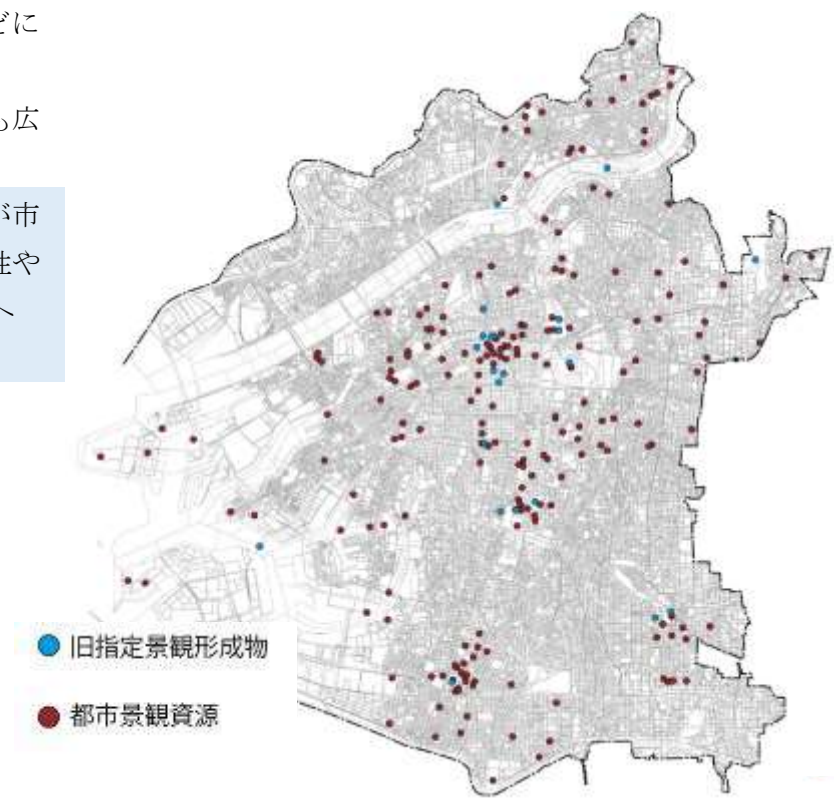
三休橋筋のガス燈整備



船場地区・地域組織によるライトアップ（近代建築のNW）

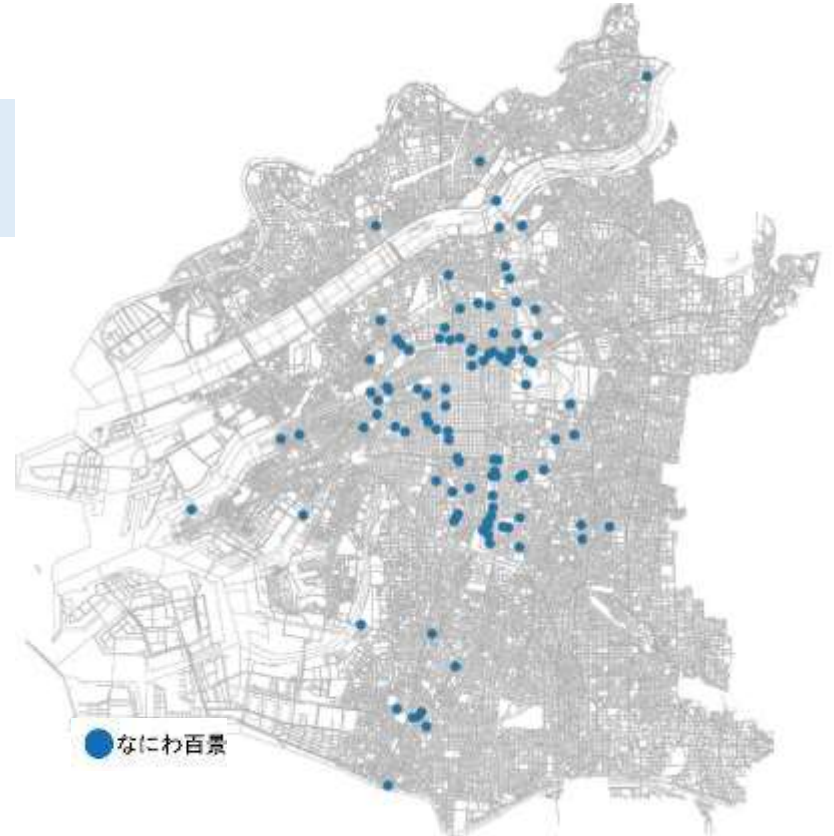
○都市景観資源

- ・「北船場」「夕陽丘」「住吉大社周辺」などに集積が見られる。
- ・一方、都市景観資源は一般的な市街地にも広く分布している。
- ・人々が愛着を感じ、親しまれている資源が市街地内に数多く分布し、背景にある歴史性や周辺環境との関係などを含めて景観形成への活用が望まれている。



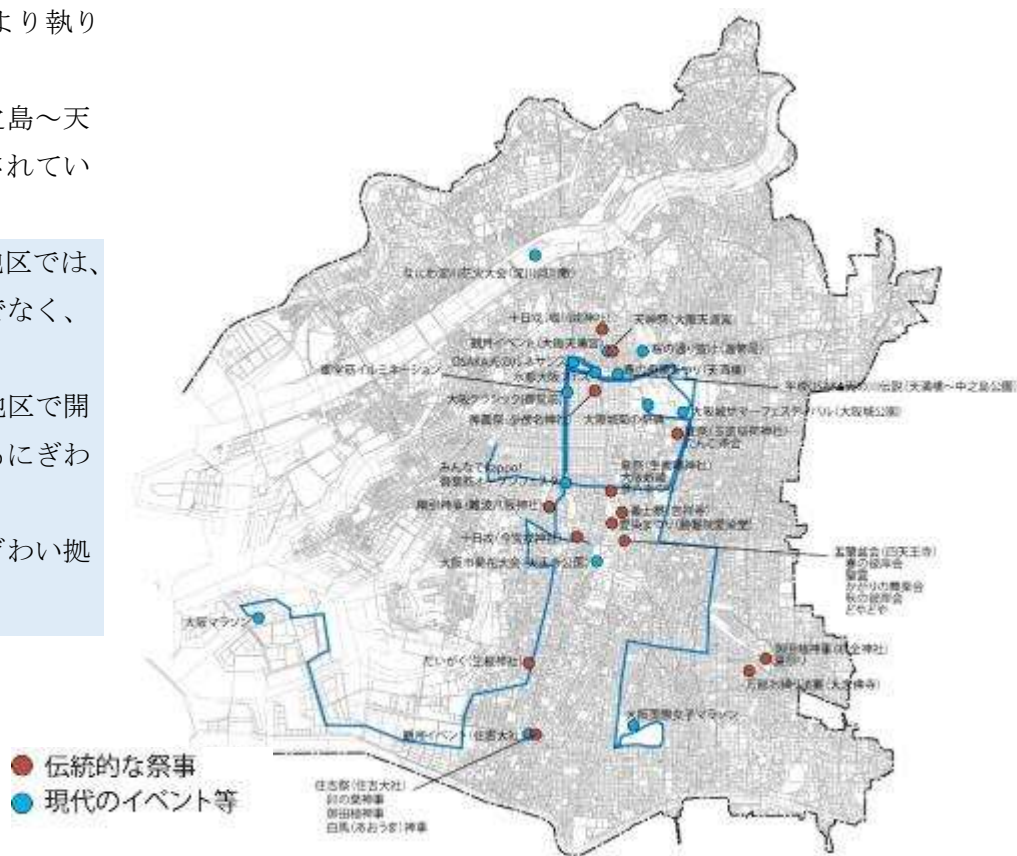
○絵図に描かれた風景（浪花百景）

- ・天満、大川、夕陽丘～天王寺、住吉大社等に集積が見られる。
- ・古くから生活との関係が密接であった水辺や、寺社などの景観が多く描かれており、現在も当時の面影を残すものも多い。



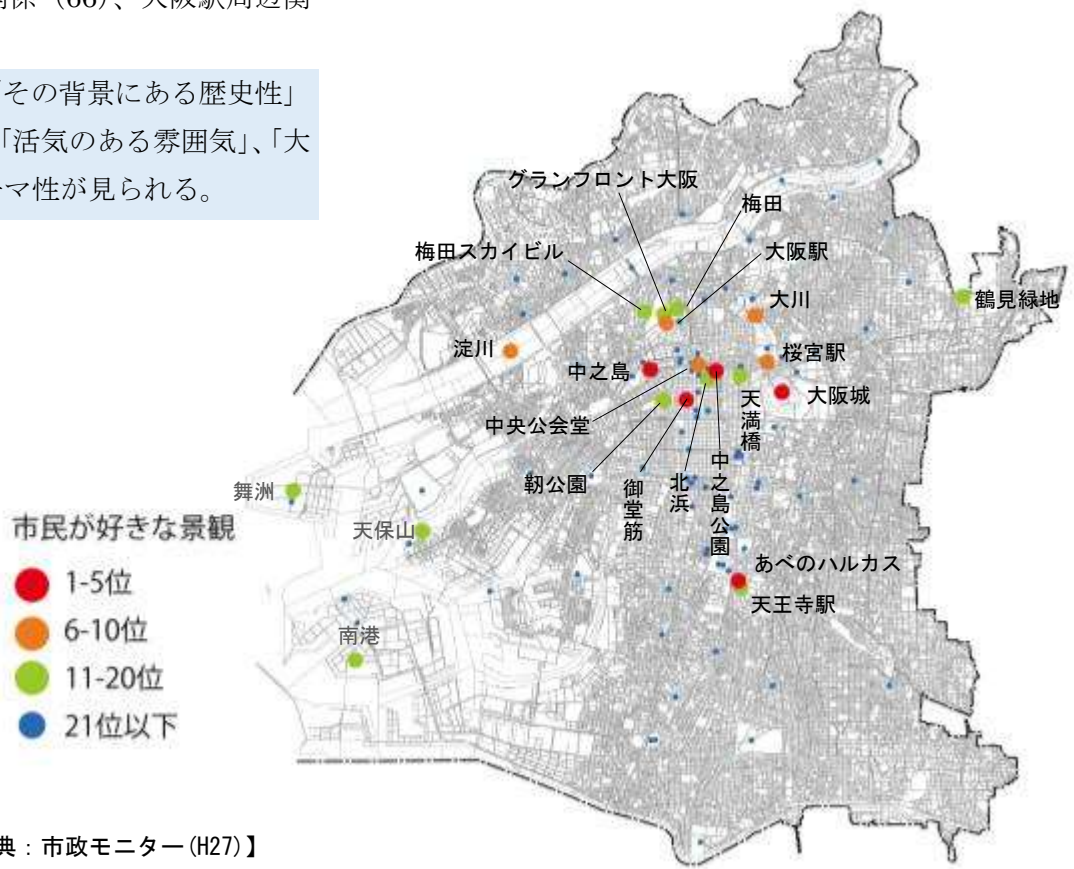
○イベントの風景

- ・伝統的な祭事は主要な社寺により執り行われている。
- ・現代のイベントは都心部の中之島～天満橋、御堂筋付近で多く実施されている。
- ・伝統的な祭事が執り行われる地区では、一時的なにぎわいを生むだけでなく、景観に意味性を付加する。
- ・イベント等は、人通りの多い地区で開催される傾向にあり、さらなるにぎわいや活気を付加している。
- ・水辺といった新しい大阪のにぎわい拠点形成されつつある。



○市民が好きな風景（市政モニター）

- ・大阪城に対する意見が最も多い結果（80）となっている。次いで中之島関係（66）、大阪駅周辺関係（26）となっている。
- ・市民が好きな景観には、「その背景にある歴史性」や「潤いある緑や水辺」、「活気のある雰囲気」、「大都市らしさ」などのテーマ性が見られる。



【出典：市政モニター（H27）】

【関連計画等】

○ランドデザイン・大阪

- ・ランドデザイン大阪では、大都市・大阪の「大きな方向性」を示しており、将来像として以下の内容が記載されている。

■多様な価値を創造する大都市大阪の実現～圧倒的な魅力を備えた“都市空間”の創造

- ・個別開発にとらわれることなく、ストック、ポテンシャルを活用し圧倒的な魅力があり、住み、働き、楽しみたいと思える都市空間をつくります。

➤ 都市魅力あふれる大都市・大阪

- ◆みどりや水辺など圧倒的な都市魅力と品格ある都市景観
- ◆歴史・文化を身近に感じ、働き、学び、遊び、暮らせる都市

①仕組みのグレート・リセット

『「行政主導」ではなく「民間主導」』

- ・需要（利用）者側の視点からの取り組み
- ・行政の一律規制の弾力的な見直し
- ・象徴的エリアのデザインは、行政が決めるのではなくエリアを熟知する民間等を主体に進める

②ハードのグレート・リセット

『みどりを圧倒的に増やす』

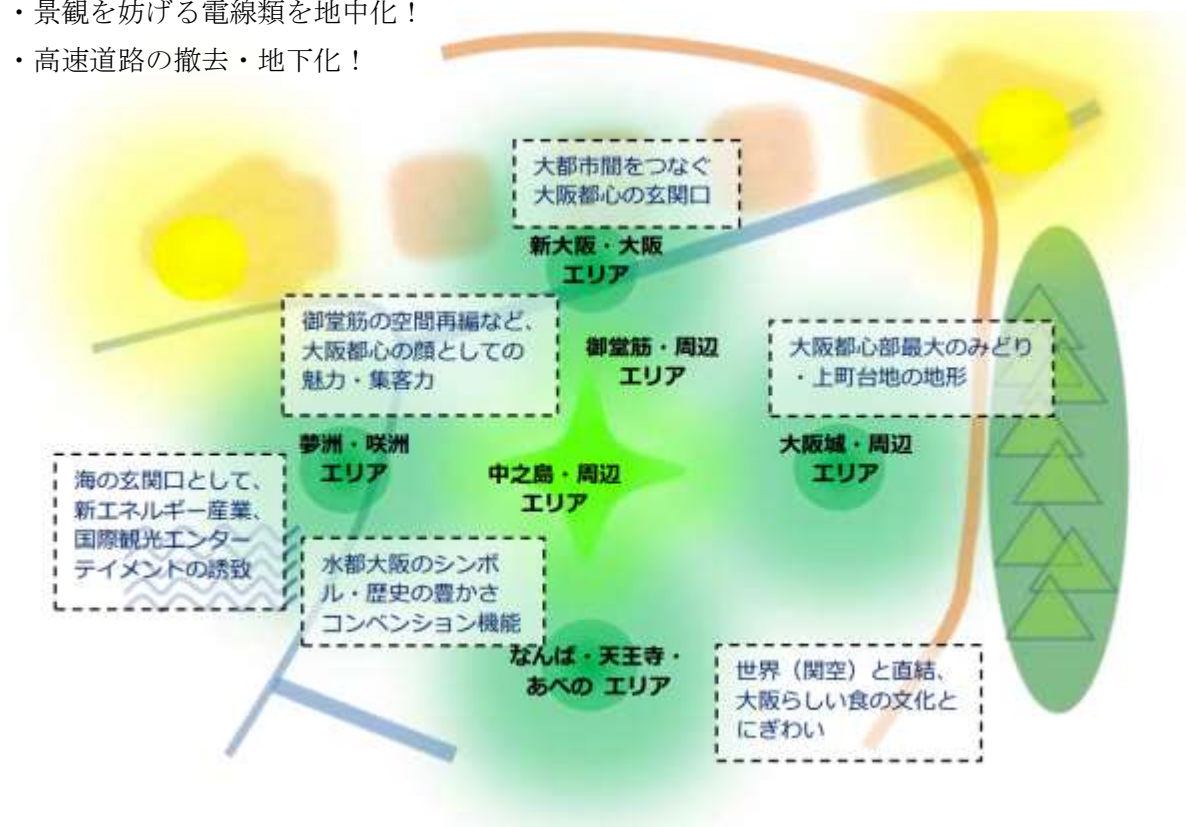
- ・通過交通を極力排除し、都心に圧倒的なみどりを！
- ・圧倒的なみどりを都心部から周辺山系までつなぐ！

『水を綺麗によみがえらせる』

- ・川の水を水都大阪として誇れるレベルに！
- ・水と親しめる空間を創出！

『街並みを美しく生まれ変わらせる』

- ・景観を妨げる電線類を地中化！
- ・高速道路の撤去・地下化！



○大阪都市計画区域マスタープラン

- ・大阪都市計画区域マスタープランにおいて、「都市景観に関する方針」として、下記の事項が記載されている。

■景観形成を促進する取組方針

① 地域特性に応じたきめ細かな景観計画の策定

大阪府は広域的観点から景観形成施策を進めていますが、よりきめ細かな誘導が必要です。本区域では、景観計画を策定し、景観形成が積極的に進められているところですが、今後も、きめ細かな景観計画を策定し、地区計画、景観地区等の都市計画や住民による景観協定、建築協定等、地域のルールづくりを促進することにより、地域の特性を活かした景観形成を進めることが重要です。

② 無電柱化の促進

電柱や電線は、多くの日本人にとって子供の時から見慣れたものであり、無意識に許容しているという意見もありますが、景観を大きく阻害しています。本区域では、幹線道路等における電柱・電線類の地中化は進んでいるものの、さらなる促進が必要です。そのため、電柱・電線のない景観に対する意識の醸成や事業費等の課題解決のための検討を進めます。

③ みどり空間の充実

都市景観の要素として、みどりは極めて重要であり、都市空間のみどりの充実を図ります。

④ 屋外広告物の規制・誘導

建築物や周辺環境との調和に配慮しつつ、地域のまちづくりと連携し、屋外広告物の規制・誘導を図ることが必要です。

■優先的に景観形成を進めるのが望ましい地区

本区域では、より一層、多くの人に都市の魅力を感じてもらう観点から、以下のとおり優先的に景観形成を促進します。特に、御堂筋沿道やうめきた等の都市再生緊急整備地域や「水都大阪 水と光のまちづくり構想」における水の回廊エリア等において、先導的に取組を促進します。

■優先的に景観形成を進めるのが望ましい地区

〔まちの顔となり、多くの人々が行き交う〕

- ①鉄道駅周辺地区
- ②主要幹線道路沿道地区

〔地域の人々が誇りと愛着を感じ、多くの人々の交流を生む〕

- ③河川等の自然環境地区
- ④歴史的・文化的な建造物、遺構、まち並み等を有する地区

〔質の高い生活空間や新たなにぎわいを創造する〕

- ⑤都市再生緊急整備地域